



2024年12月20日

各 位

全固体電池向け硫化物固体電解質「A-SOLiD®」の開発・量産に向けた 「蓄電池に係る供給確保計画」が経済産業省より認定

当社（社長：納 武士）は、成長分野の1つと位置づけている全固体電池^{*1}向け固体電解質「A-SOLiD[®]*2」の量産技術開発について、経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定されましたので、お知らせいたします。当該計画に従った取り組みにより、今後拡大が見込まれる固体電解質需要に対応する生産能力を具備するための基盤技術を確立するとともに、将来的な日本国における全固体電池サプライチェーン構築に貢献してまいります。当社は、助成対象事業終了までに市場環境を鑑み、蓄電池3GWh/年相当以上の規模の量産設備投資の判断をいたします。

（ご参考）認定された蓄電池に係る供給確保計画の概要

品目	硫化物固体電解質
取組の種類	生産技術の導入・開発・改良
投資金額	約198億円
助成金額	約99億円（最大）

次世代の蓄電池として期待されている全固体電池は、電気自動車（EV）をはじめとした幅広い用途で開発が進んでおります。当社は、長年培った電池材料技術を活かして開発した硫化物固体電解質 A-SOLiD[®]をそのキー・マテリアルと位置づけ、お客様や市場パートナーの皆様と全固体電池の実用化に向けた取り組みを進めております。

当社は2019年に固体電解質の量産試験用設備を埼玉県上尾地区に導入して以降、2度にわたる生産能力の増強を決定し、お客様における全固体電池開発ニーズに積極的に応えてまいりました。その結果、国内外における全固体電池開発競争が活発化する中、当社固体電解質は複数のお客様において開発標準材料として位置づけられ、更なる需要が見込まれております。

当社はパーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、EV用途をはじめ、全固体電池ならではの新しい用途を創造し、サステナブルな社会作りに貢献してまいります。

以上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5437-8028 Eメール : PR@mitsui-kinzoku.com

【用語解説】

※1 全固体電池

高エネルギー密度化、高入出力特性、高耐環境性などの特徴を有し、特殊環境下における用途や新しい蓄電用途および電気自動車 (EV) 用途において精力的に開発が進められており、一部は実用化段階を迎えています。

※2 A-SOLiD®

当社が開発した固体電解質は、有機電解液と同等水準の高いリチウムイオン伝導性を有し、電気化学的にも安定な「アルジロダイト型硫化物固体電解質」であることを特徴とし、「A-SOLiD®」として商標登録をしております。本ブランドのもと全固体電池の普及に貢献していきます。

(ご参考)



アルジロダイト型硫化物固体電解質「A-SOLiD®」写真



A-SOLiD®を生産する量産試験棟